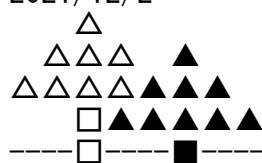


2021/12/2

林業試験場メールマガジン



『北の森の達人』

Vol. 67 第67号

□■□読者の皆様へ□■□

いつも林業試験場メールマガジン『北の森の達人』をお読みいただき、ありがとうございます。今回のメールマガジンは刊行物発行のご案内と林業試験場からのお知らせです。

 ■「光珠内季報No.200号」「グリーントピックスNo63」を発行しました。

光珠内季報はこのたび200号となりました。そこで、今回の光珠内季報は林業試験場OBの方にもご協力いただき、林業試験場52年の歴史を振り返った特集号となっております。
 みなさま、是非ごらんください。

当該ホームページ「刊行物」のページはこちら
<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/about/kanko.htm>

★刊行物ダイジェスト

・・・光珠内季報 200号（2021.12発行）・・・

1 光珠内季報200号発刊を迎えて	1頁
2 「樹木だより」を振り返る	2頁

「樹木だより」シリーズは、光珠内季報の7号（1971年1月）から129号（2003年2月）までの間、計60回にわたって不定期で連載されました。このシリーズの連載の経緯を振り返りながら、当時の林業試験場の造林・育林分野の研究の様子や主な執筆者の横顔などを紹介します。

3 光珠内における林木育種の始まりから今、そしてこれから	7頁
------------------------------	----

光珠内に64年前に設立された事業所で始まった林木育種事業・研究について、現在までの経過、成果を振り返ってみると、継続できた大きな要因は、組織と人材であった。今となっては少子高齢化によりその再現は困難と思われるが、それに換わる技術革新や組織改編、人材育成等による育種材料の増殖、育成、保全を「継続」できる早急な対策の構築が求められており、この戦略も国家事業として開始されていると思われる。

4 林業試験場における森林防災研究を振り返る	
------------------------	--

防災や流域保全を担当するセクションがこれまで54年間に行った、山地災害の防止と復旧に関する研究、防災林の管理と機能に関する研究、森林の風倒被害に関する研究、流域圏の物質循環に関する研究、水土保持機能に関する研究などについて振り返りを試みた。

5 林業試験場における緑化研究 ー樹芸から緑化樹そして樹木利用へー
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17頁

林業試験場の緑化に関する研究を各時代の組織体制別に記載した。研究分野としては、増殖、維持管理に関する緑化技術の開発、新しい緑化樹の創出、北海道内に生育している未利用樹種の活用方法があげられる。

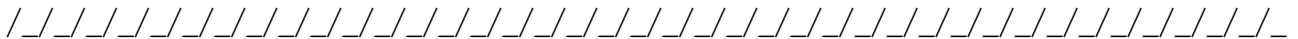
・・・グリーントピックス 63号（2021.10発行）・・・

- 1 衛星画像を用いた山火事後の森林モニタリングに取り組んでいます
- 2 UAVとAIを活用した人工林資源推定
ートドマツ人工林における単木計測手法の開発ー
- 3 街路樹の健康状態を樹幹の外と内から診ました

■林業試験場の研究支援職員を募集しています

林業試験場では、苗畑及び試験地の管理作業、林業機械等の操作、調査補助等の研究支援業務を行う研究支援職員を募集しています。
申込み期限は令和3年12月21日（消印有効）となっております。
ご応募お待ちしております。

※詳しい募集要項等は道総研法人本部のウェブサイトよりご覧ください。
道総研採用情報はこちら
<http://www.hro.or.jp/hro/recruit/recruit/kenkyushien1.html>



林業試験場メールマガジン『北の森の達人』は、北海道の森林・林業・身近なみどりに関わる情報を皆様に直接お届けするメールマガジンです。

- 発行・編集
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場
〒079-0198 北海道美唄市光珠内町東山
- 問い合わせ
企画調整部普及グループ
電子メール forestry-mm@hro.or.jp

■記事の取り扱い

林業試験場メールマガジンに掲載された記事を転載することはご遠慮ください。

